



9月定例議会

9月定例議会報告	2
議案審議採決結果	3
令和5年請願第1号特別委員会報告	4
問責決議	5
各常任委員会決算報告	6
各常任委員会視察研修報告	8
政治倫理調査会報告	10
ズバリ聞きます!一般質問	12



和水町
NAGOMIMACHI

Vol. 70

議会だより



9月29日(日)なごみスポーツの日

2024.11.1 発行

9月議会議案審議

採決結果 町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第56号	条例	和水町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第57号	条例	和水町地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第58号	条例	和水町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第59号	条例	和水町デイサービスセンター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第60号	補正予算	令和6年度 和水町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第61号	補正予算	令和6年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第62号	補正予算	令和6年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第63号	補正予算	令和6年度 和水町下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第64号	その他	財産の減額譲渡について（旧内田工業団地・土地）	原案可決
議案第65号	その他	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	原案可決
認定第1号	決算	令和5年度 和水町一般会計歳入歳出決算	原案認定
認定第2号	決算	令和5年度 和水町国民健康保険事業会計歳入歳出決算	原案認定
認定第3号	決算	令和5年度 和水町介護保険事業会計歳入歳出決算	原案認定
認定第4号	決算	令和5年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計歳入歳出決算	原案認定
認定第5号	決算	令和5年度 和水町春富財産区特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第6号	決算	令和5年度 和水町後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	原案認定
認定第7号	決算	令和5年度 和水町簡易水道事業会計決算	原案認定
認定第8号	決算	令和5年度 和水町下水道事業会計決算	原案認定
認定第9号	決算	令和5年度 和水町病院事業会計決算	原案認定
同意第15号	人事	和水町農業委員の任命について（同意）	原案同意
報告第4号	報告	令和5年度 決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	報告

【議員提出議案一覧】

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
発議第1号	その他	笹渕賢吾議員に対する問責決議	原案可決
発議第2号	その他	齊木幸男議員に対する問責決議	原案可決

9月定例会 賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載
○は賛成 ×は反対 ーは欠席 △は除斥

議員名			亀崎清貴	千々岩繁	木原泰代	荒木宏太	白木淳	齊木幸男	竹下周三	秋丸要一	笹渕賢吾	坂本敏彦	高木洋一郎
議 案			清貴	繁	泰代	宏太	淳	幸男	周三	要一	賢吾	敏彦	洋一郎
議案第56号	条 例	和水町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※
認定第1号	決 算	令和5年度 和水町一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※
発議第1号	その他	笹渕賢吾議員に対する問責決議	○	○	○	×	○	×	○	×	△	○	※
発議第2号	その他	齊木幸男議員に対する問責決議	○	○	○	×	○	△	○	×	×	○	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。 【討論】 反対 笹渕賢吾議員（認定第1号）

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
161	令和6年7月2日	母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情	配付	
165	令和6年7月11日	和水町議会政治倫理調査会の運営に関する意見書	継続審査	議会運営委員会
199	令和6年8月5日	現行健康保険証の存続を求める陳情書	配付	

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
286	令和5年11月17日	和水町議会の一部議員における守秘義務違反（情報漏洩）、期日遅延、除斥違反などの地方自治法および和水町各条例に対する度重なる違反及び幫助、公開委員会等において住民（実名）に対する名誉棄損などの議会の不適切運営を是正することを主旨する請願書	一部採択	令和5年請願第1号特別委員会

条 例	例	4件
補 正	算	4件
予 算	他	4件
決 算	算	9件
人 事	事	1件
報 告	告	1件
計		23件

令和6年度 一般会計補正予算

2億7,438万5千円を追加!!

総額 94億7,460万6千円に

令和6年

9月

定例議会

報告

令和6年9月議会定例会は9月9日から17日までの9日間の会期で開催され、令和6年度補正予算など議案（条例4件、補正予算4件、その他4件）、決算9件、人事1件、報告1件が上程され、それぞれ可決、認定・承認された。

一般会計補正予算の主な内容

課	事 業 名	補正金額	内 容
総務課	財政管理事務経費	2億1,845万円	財政調整基金への積立金
	国際交流事業	139万6千円	台湾九如郷25名の訪問団受け入れ経費
まちづくり課	廃校管理経費	37万9千円	旧緑小の消防設備、高圧受電設備の修繕料
	企画事務経費	35万9千円	農業就業センター跡地の地籍測量図委託料
	分譲宅地給水設備管理事業	33万8千円	PFOS・PFOA水質検査費用・残留塩素測定器費用
	企業誘致事務経費	10万円	企業からの視察に係る費用
	観光PR事業	66万円	肥後民家村イベント費用
農林振興課	林業振興費	129万9千円	地すべり警報機付傾斜計・中継器設置費用
	町道維持管理事業	2,820万円	間伐整備補助金増額
	農地等災害復旧事業	170万円	集中豪雨時、路面水の流出被害による排水設備整備費用 6月中の豪雨により被災した農業施設の復旧

特別会計・公営企業会計補正予算

会計名			補正額	補正後の額
介護保険事業会計			1,607万2千円	14億8,147万7千円
特別養護老人ホーム事業会計			1,840万9千円	6億6,665万4千円
下水道事業会計	収益的	収入	0千円	2億745万5千円
		支出	85万7千円	2億656万5千円
	資本的	収入	2,213万9千円	1億439万6千円
		支出	2,209万2千円	1億3,153万8千円

問 責 決 議

●問責決議とは

問責決議とは、議会が示す決議のひとつで、議会議員の政治責任を問うものです。可決されても法的拘束力はありません。

笹渕賢吾議員に対する問責決議

提出日 令和6年9月17日

提出者 竹下 周三 賛成議員 坂本 敏彦 賛成議員 千々岩 繁

●提出理由 笹渕賢吾議員に対し、議員としての責任を問うため。

笹渕賢吾議員は、会議等に遅刻や欠席を繰り返し、議員としての責任感と役割の重要性を軽視していると言わざるを得ない。今後もこれまでのような状況が続けるならば看過できない。

よって、和水町議会は笹渕賢吾議員に対し猛省を促し議会議員としての責任を問うものである、又、政治倫理調査会の委員としての資質に欠ける行為であり、辞任を求める。

齊木幸男議員に対する問責決議

提出日 令和6年9月17日

提出者 白木 淳 賛成議員 木原 泰代 賛成議員 亀崎 清貴

●提出理由 齊木幸男議員に対し、責任を問うため。

令和6年5月16日 政治倫理調査会

意見聴取が行われた折、齊木幸男議員自ら詰問をなした責任上、真摯に説明を聞くべきであるが、疑義を持たれた議員が説明をしている最中にスマートフォンを使用し、疑義を持たれた議員から注意を受けた。

令和6年7月29日 令和5年請願第1号特別委員会

委員長である齊木幸男議員は、意見の集約を図るため委員に意見を求め、委員が意見を述べているにも拘わらずスマートフォンを使用し、別の委員から叱責注意を受けた。

よって、和水町議会は齊木幸男議員に対し猛省を促し、委員としての責任を強く問うと共に、政治倫理調査会の委員を辞任するべきである。

議会傍聴をお待ちしています!

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開催され、行政に対する一般質問などが行われます。

定例会日程や一般質問等の詳細は、町のホームページ、議会事務局にお尋ねください。

役場本庁1階ロビー、支所ロビー、中央公民館、三加和公民館でも生中継でご覧になれます。

和水町議会の一部議員における守秘義務違反(情報漏洩)、期日遅延、除斥違反などの地方自治法および和水町各条例に対する度重なる違反および幫助、公開委員会等において住民(実名)に対する名誉棄損などの議会の不適切運営を是正することを主旨する請願書(以下、令和5年請願第1号)

【請願事項】

高木洋一郎議長、坂本敏彦副議長、木原泰代議員、竹下周三議員、白木淳議員5名の役職辞任の勧告を求めると共に、以下の事件に対し、公開協議にて、事実および原因究明、再発防止策の策定および徹底を行うこと、一切の委員会(秘密会を除く)の議事録のホームページ上への公開、令和5年8月31日全国議長会事務局および熊本県議長会事務局への問い合わせ内容の詳細(概略は不可)の公表を行うこと。

- ①高木洋一郎議長による「坂本敏彦副議長に対する政治倫理調査請求」の政治倫理調査会への付託実施遅延(和水町議会議員の政治倫理に関する条例第10条第2項違反)事件
- ②和水町議会議員(高木洋一郎議長またはその関連議員)による情報漏洩事件
- ③令和5年7月11日付陳情書に対する審査を実施した令和5年8月24日付議会運営委員会および令和5年8月31日付議会運営委員会における坂本敏彦副議長、木原泰代議員2名による地方自治法第117条(除斥)違反および和水町議会委員会条例第15条(除斥)違反事件
- ④令和5年8月24日付議会運営委員会および令和5年8月31日付議会運営委員会の陳情書付託審議において疑惑の当事者であり発言権のない高木洋一郎議長の不規則発言、竹下周三議員による坂本敏彦副議長、木原泰代議員の委員会への参加を促す発言により地方自治法第117条違反および和水町議会委員会条例第15条違反を容認(幫助)した事件
- ⑤令和5年8月24日付議会運営委員会および令和5年8月31日付議会運営委員会の陳情書付託審議における高木洋一郎議長の和水町議会委員会条例第23条第25条違反事件
- ⑥令和5年8月24日付議会運営委員会における白木淳議員および竹下周三議員の疑惑解明等を拒絶する和水町議会議員の政治倫理に関する条例第2条第3条違反事件
- ⑦令和5年8月31日付議会運営委員会における休憩時間に高木洋一郎議長の指示にて行われた全国議長会事務局および熊本県議長会事務局への問い合わせ内容への関与疑惑事件

局への問い合わせ内容への関与疑惑事件

1 調査について

調査の事情聴取は請願者、請願紹介議員秋丸要一議員、参考人高木洋一郎議長等4名。

2 審査結果について

令和5年請願第1号の審査結果は一部採択。

3 調査結果は以下のとおり

(1) 請願事項①

高木洋一郎議長による付託実施遅延が起きていたことを確認した。

請願事項②

情報漏洩事件については、確認できなかった。

請願事項③

調査対象者の坂本敏彦副議長、木原泰代議員は除斥されるべきだった。

請願事項④

高木洋一郎議長の不規則発言、竹下周三議員による坂本敏彦副議長、木原泰代議員の委員会への参加を促す発言は、一部確認できた。

請願事項⑤

確認できなかった。

請願事項⑥

白木淳議員および竹下周三議員の疑惑解明等を拒絶する事件については、確認できた。

請願事項⑦

確認できなかった。

- (2) 一切の委員会の議事録へのホームページ上の公開については、和水町議会委員会条例の改正が必要であることから見送る。
- (3) 役職辞任については、本人に委ねることとし、要求しない。

4 再発防止策は以下のとおり

- (1) 議長は、議会での役割と職務を再認識するよう求める。
- (2) 議員は、和水町議会基本条例を再認識し、理解を深めるよう求める。
- (3) 議会は、研修の充実を図り議員各位は、資質の向上に努めることを求める。
- (4) 議会事務局の情報管理、施錠管理等の徹底を求める。

※お知らせ

令和5年請願第1号特別委員会報告書の全文は議会ホームページをご覧ください。

厚生建設経済常任委員会

令和5年度決算審査報告

委員長 木原 泰代

令和6年9月11日、12日、常任委員（木原・竹下・坂本・齊木・荒木）で所管の福祉課、保健子ども課、神尾保育園、農業委員会、農林振興課、建設課、和水町立病院、特別養護老人ホームきくすい荘の課長等に説明を求め、慎重に審査を行い、当委員会付託の認定第1、3、4、7、8、9号につきまして、全会一致で認定しました。決算状況の一部を報告します。

福祉課

- 価格高騰重点支援給付金1億6,223万円、高齢者福祉費3億1,456万円、障害者総合支援給付金3億3,378万円。
- 介護保険事業会計は、実質収支2億9,155万円の黒字。

意見 第9期においても計画等の確実な実施で介護保険事業の安定運営を望む。

保健子ども課・神尾保育園

- 子ども医療費助成事業3,791万円、放課後児童健全育成事業費4,238万円、子育て支援事業4,369万円。
- 住民健診事業経費2,099万円、コロナワクチン事業経費等4,333万円。

意見 子ども医療費の現状把握も必要。放課後児童健全育成事業充実には、他の事業・団体等との連携も必要ではないか。更なる健診・保健事業の充実に努めてほしい。

和水町立病院

- 令和5年度病院事業の純収益10億5,235万円、総費用9億9,451万円で5,784万円の黒字決算。入院、外来の延患者数は若干増加。併設の健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所と一体となり地域医療に取り組んでいる。

意見 熊本大学・他の医療機関・福祉施設等との連携を深め、自治体病院としての役割を担ってほしい。

特別養護老人ホームきくすい荘

- 歳出決算額4億4,851万円。処遇改善加算取得による収入増や受電設備の修繕による電力効率の改善で支出を抑え、一般会計からの繰入れを抑えた。きくすい荘建て替えについて、令和5年度に用地取得、地質調査、造成測量設計、基本設計が完了。

意見 経営努力を重ねながら、利用者の安心・安全な生活の場となるよう取り組んでほしい。

農業委員会

- 歳出総額3,081万円。農業委員会の事務経費と農地集積・集約事業等に支出。令和6年4月からの相続登記申請義務化に伴い、事前の土地確認等の問い合わせが多かった。

意見 各種委員の報酬について金額の検討も必要な時期ではないか。

農林振興課

- 歳出総額2億883万円。中山間地域直接支払事業で54集落に5,102万円。
- 竹粉碎器貸出事業352万円、荒廃竹林整備事業102万円、危険木伐採助成金74万円。
- 有害鳥獣による被害防止対策として捕獲対策、防護対策等7,282万円。

意見 有害鳥獣について、対策の更なる充実を望む。

建設課

- 土木費歳出総額9億2,604万円。各行政区への土木費補助金2,471万円、小災害復旧補助金543万円。道路橋梁費7億3,854万円。
- 簡易水道事業会計・下水道会計については、一般会計からの繰入金もあり純利益。

意見 有利な補助事業を活用しながら町民にとって安心・安全な環境整備に努力されることを望む。

総務文教常任委員会

令和5年度決算審査報告

委員長 秋丸 要一

令和6年9月12日・13日の2日間で、総務文教常任委員6名にて総務文教常任委員会所管の担当課である税務課、議会事務局、会計室、住民環境課、社会教育課、地域振興課、学校教育課、まちづくり課、総務課の順に関係資料等をもとに関係課長等の説明を求め審査を行ないました。審査の結果、認定第1号一般会計、認定第2号国民健康保険事業会計、認定第5号春富財産区特別会計、認定第6号後期高齢者医療事業会計の4件、いずれも賛成多数により認定しました。各課の審査内容について一部を報告します。

総務課

令和5年度の一般会計歳入決算額は90億9,007万1千円。歳出決算額は86億971万5千円。実質収支金額は4億3,689万8千円。

歳入の対前年比0.2%の減、歳出の対前年比は1.2%の増。歳入の構成比は地方交付税が全体の36.8%を占め町税は10.7%である。自主財源の割合は32.3%。自主財源となる町税やふるさと納税の増加を目指す努力をお願いしたい。

総務費の決算額は21億5,774万円で全体の25.1%。

総務課が所轄する19の事業の決算額は19億6,987万円になる。消防関係では、小型動力ポンプ付消防積載車を1台購入579万円。埋め込み型の耐震性貯水槽の設置等合計1,855万円。

まちづくり課

予算総額16億1,985万5千円。

決算総額15億4,084万円。繰越金7,900万円。

地方バス路線維持補助金2,453万円。定住促進事業6,063万円。新築住宅みらい支援補助金1,520万円、19件。わくわく子育て応援金3,420万円。町の施策を活用して町外から移住した人19世帯49名。お出かけ交通費2,520万円。学校給食費無償化補助金3,194万円。金栗生家改修など3,697万円。三加和温泉施設等管理運営事務費用経費4,843万円。重点道の駅活性化推進事業1億2,202万円。尚、27事業に対してふるさと応援寄付金基金から8,463万円を繰入している。令和5年度のふるさと納税寄付金7億6,512万円。経費を差し引いた残額2億9,389万円を基金に積み立てた。基金残高8億1,749万円。

税務課

町税収納額は9億7,698万円前年度より297万円の減収。一般会計歳入総額の10.7%を占めている。

歳出 航空写真合同撮影負担金646万円、税務システムの整備費1,414万円、地方税共同機構負担金52万円。

学校教育課

歳出 5億273万円

菊水中エレベーター設置費用1億2,492万円。学校給食補助金3,199万円。菊水小スクールバス費用2,449万円。三加和小スクールバス費用2,366万円。共同調理場の事務・運用経費7,394万円。

社会教育課

歳出 4億3,389万円

江田船山古墳発掘150周年記念事業550万円。金栗四三顕彰事業として生家の屋根補修に3,907万円、箱根駅伝見学ツアーなど合計4,390万円。スカイドーム空調整備他管理経費2億4,378万円。和水町総合グラウンドのトイレ新設2,665万円。

住民環境課

歳出 総額6億7,823万円。一般会計の主なもの、マイナンバーカードの取得推進490万円、交付率78.8%。住民票と印鑑証明書のコンビニ交付事業費819万円、281件の利用あり。空き家対策として老朽危険空き家の解体費用2件で100万円の補助。清掃に係る有明広域行政事務組合の負担金2億149万円。ごみ収集運搬業務委託料3,576万円。

地域振興課

歳出 1,974万円

支所費734万円、庁用車管理費100万円、専用水道事業費96万円。子育てひろば事業費543万円。

春富財産区特別会計

財産区管理委員会費4万円
財産管理費2万円

委員長 木原 泰代

令和6年7月9日・10日、福岡県の先進施設で研修を行いました。

JA糸島産直市場(伊都菜彩)

平成19年に開店、敷地面積19,654㎡、401台の駐車が可能。糸島産の農水産物にこだわった品揃えが豊富で、令和5年度にはJA直売所売り上げ全国一位を記録。市役所との連携、出荷者のネットワーク研修等も行い、糸島の食の情報の発信に努めておられた。

●菊水ロマン館、緑彩館についても、町や他の直売所との連携・情報発信の更なる強化が必要だと感じた。



地域複合センター(いと楽し)

特別養護老人ホーム(定員50名・全室個室)、サービス付き高齢者向け住宅(31室)、ケアプランセンター、いとぼっぼ保育園(定員50名)、デイサービスセンター、ケアプランセンターを社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会が運営。派遣職員も多く、人材の確保は本町同様の課題。食事は中村学園に委託。

特別養護老人ホームでは、入居者一人ひとりの個性や生活のリズムに沿った「個別ケア」を実践。特養入所者の殆どが自室のトイレを使いなるべく自分で排泄ができる環境を作っている。高齢者と保育園児との日常的な交流は、子ども達にとっても、高齢者の方々にとっても良い影響があるとのこと。

●今回の学びを参考に、きくすい荘の介護の質がより高まることを期待したい。



アプレ有限会社竹わらべ

荒廃竹林の解決に向けて福岡県の糸島で、食を通した取り組みを展開。竹の用途の開拓を行い、糸島魔法の竹ぬか床、竹パウダー、純国産糸島メンマ等を生産。

青果や缶詰加工集荷終了後、本来であれば伐採していた幼竹や、取り損なってしまった1.5～2mの幼竹を、親竹を残して伐採し、皮剥ぎ・カット・姫皮取り、茹でる、塩蔵、そしてメンマとして製品化。国産メンマの需要は高く、幼竹は高価で買い取られ、竹林整備にも繋がっている。

●手順を参考に和木町でも取り組めると感じた。



福岡市立中央児童会館(あいくる)

中央区今泉の商業施設の中に、1階～4階は民間、5階から7階と屋上に中央児童館機能、子どもプラザ、乳幼児の一時預かり等の機能があり、0から18歳までの切れ目のない支援と居場所となっている。

令和5年度の年間利用者数は13万3,000人。福岡市保育協会が指定管理者として運営し子ども達の主体的な活動を支えている。

●切れ目のない居場所づくりや子育て支援、家庭や学校と違う場所で自分を丸ごと肯定してくれる大人との出会いがあることの大切さを再確認した。



委員長 秋丸 要一

令和6年7月11日と12日の2日間で、鹿児島県錦江町と肝付町で研修を行いました。

目的は、合併後の公共施設の取り扱い並びに公共交通事業についてです。

鹿児島県錦江町

①公共交通事業について

あいのりタクシーとコミュニティバスの運用形態がある。

●あいのりタクシーは、今年度4月から本格運用を開始。地域のタクシー事業者と連携し、外出支援を目的にあいのりタクシーの事業を導入している。



令和6年度からは紙チケットとマイナンバーの両方が、使用できるよう利用者増に向けた運用体系になっている。

●錦江町コミュニティバスについては、自前の車を町営で平成20年から開始。スクールバスが空いている時間帯を利用し、2つの地域に走らせている。

②合併後の公共施設の取り扱いについて

施設保有面積5%の削減を目標とし、令和6年度末における達成率は4.12%になる見込みである。利用見込みが低い施設については検討をし、廃止した施設については積極的に売却や除却を行う。除却する場合は機能を集約している。

③サテライトオフィス事業について

●サテライトオフィス誘致を推進するために平成20年に廃校になった旧神川中学校をリノベーションし、誘致に繋げている。企業や個人とのつながりを継続して行くための手段として、お試しワーケーション制度の推進事業を展開している。この結果現在5社が入居されている。



※図・写真は錦江町ホームページより

鹿児島県肝付町

①公共交通について

町には3つのエリアがあり、交通の手段としては路線バス、おでかけタクシー、事前予約型乗合タクシーの3形態。

●おでかけタクシーについて、点在する交通不便地域の交通手段の解消。交通弱者や高齢者の免許返納者に対する対策対応。登録・利用状況については、増加傾向にある。



●利用するには、事前に利用者登録カードを発行してもらい、電話またはスマートフォンアプリから予約すると自宅までタクシーが来るので利用者登録カードを提示して到着時に一回200円の料金を支払う。ただし、おでかけタクシーは、3つのエリア内のみでしか利用できず、エリア間の乗り入れには、路線バスか事前予約型乗合タクシーを利用する。

●事前予約型乗合タクシーは、町所有の4台の車で対応している。

●高齢者運転免許証自主返納支援については満65歳以上の方が対象となる。支援内容は肝付町商工会が発行する肝付町共通商品券12,000円分を進呈している。

②合併後の公共施設の取り扱いについて

●個別施設計画を令和3年3月に策定し、計画期間は40年間で10年ごとに見直しを行うことを基本とし、適時見直しを行う。

●合併後の公共施設の取り扱いについて
令和5年度末延べ床面積は1,098減の139,901㎡となり0.77%減少。公営住宅の取り壊しが主で、今年度は公営住宅2棟、総務課管理の公共施設1棟の取り壊しを予定している。



※図・写真は肝付町ホームページより

玉名郡町村議会議員研修会及び球技大会が長洲町で開催されました。

熊本大学の伊藤洋典教授を講師にお招きし、「地方議会の役割と質問・質疑のあり方」を演題として講演が行われました。本会議での質問、質疑の方法や議員としての心構えなど学ぶことができ、改めて住民全体の代表者であることを認識しました。

講演会後の球技大会では、ペタリング競技を行い、玉名郡議会議員との親睦を深めることができました。



令和6年度行政視察受入れ状況

ようこそ和水町へ

視察日	視察団体	視察内容
6月19日(水)	宮城県 大衡(おおひら)村議会	1. 子ども子育て支援の取り組みについて 2. 移住定住促進事業について 3. あいのりくん事業の取り組みについて 4. ふるさと納税について
7月18日(木)	鹿児島県 南九州市議会	1. 出生数の推移 2. 子育て支援事業の取り組み状況について 3. ファミリーサポートセンターの取り組み状況について 4. わくわく子育て応援金(出生祝金・入学祝金)について



6月19日 宮城県大衡(おおひら)村議会



7月18日 鹿児島県南九州市議会

調査会会長 笹渕 賢吾

町民から提出され、議長から令和6年6月11日付で付託された調査請求について、調査会で調査した結果を報告します。

〔調査請求の対象となる議員〕

齊木 幸男 議員

〔調査請求の内容〕

公職選挙法第199条の2

和水町議会議員の政治倫理に関する条例第2条及び第3条

齊木幸男議員は、平成30年4月に和水町議会議員に当選した。職業は神官であり和水町の旧菊水地区で15～20社程の神社の宮司として務めていると伺う。

以前から、交通安全ステッカーやお守り等を氏子に無料で配布し、お祭りの度におみくじ等を無料でふるまっていた。

議員に当選した後も、相変わらず配付を止めず現在に至っている。これは、和水町の議員として公職に就いた時点で無料配布をやめるのは、当然の事であり、意識改革と節度ある議員活動をする為に無料配布等を自主的に止めることを望んでいた。

齊木議員は常々、公職である議員の品位・倫理・規範等について、良く熱弁されていると聞くが、多くの町民から疑念を持たれる様な行為はきっちり整理して改善しなければならない。管轄する神社氏子等へのお守り等の無料の配付は、公職選挙法で禁止されている寄付行為に当たるとともに、和水町議会議員の政治倫理条例に違反するものであると言わざるを得ない。

厳正な調査及び審議を公開にて実施して頂き、町民に対して公表して頂くようお願いする。いかに制度や組織が整備されても、これを解釈運用する者の心構えがしっかりしなければ、制度は生かされない。公平中立に審議頂き適正な判断をされるようお願いする。

〔調査結果〕

公職選挙法第199条の2及び和水町議会議員の政治倫理に関する条例第2条に掲げる議員の責務及び同条例第3条の政治倫理基準には抵触しないが多数のため「抵触しない」と決定した。

抵触しない3名(秋丸 要一、荒木 宏太、笹渕 賢吾)

抵触する2名(竹下 周三、千々岩 繁)

(理由)

- ・本人、参考人の事情聴取や提出された証拠資料をもとに調査を実施し、神社運営の一環として自己の事業内での金額で対価として実施しており対価性が認められるため、公職選挙法には抵触しないと考える。また、自己の利益、町民の代表者としての品位、名誉を損なう恐れのある行為にも該当しない。
- ・以前からこのようなお守り等の無料配布は行われており、生活に根差したものである。地域の皆さんが認めてきたことを考えれば和水町議会議員の政治倫理に関する条例には抵触しない。

〔少数意見の留保〕

- ・公職選挙法の判断は難しい。しかるべき司法判断が必要と思われる。
- ・本人と参考人の意見が食い違っている。議員に就かれた時点でこのような無料配布は止めるべきだったことから、町民から不正の疑惑を持たれる行為、職務の不正を疑われる行為に該当する。よって、和水町議会議員の政治倫理に関する条例第2条及び第3条に抵触すると判断する。



木原 泰代議員



带状疱疹の予防について

木原 带状疱疹に罹患した人を見聞きするが、本町の带状疱疹罹患の現状は。

町長 国保のデータ支援システムでは、令和5年度38名、令和4年度41名の罹患を確認。85%以上が60～70代であった。

保健子ども課長 受診1回のあたり医療費は、自己負担率3割で約2,400円～2,700円。約3週間から数カ月の治療期間を要している。

木原 带状疱疹予防についての周知は。

町長 規則正しい生活習慣が予防につながると健診後の保健指導で実施。50歳以上を対象に予防接種という選択肢があるが任意である。

木原 带状疱疹ワクチン予防接種の費用は。

健康福祉課長 2種類あり、生ワクチンの接種回数は

1回で、費用は8,000円前後。不活化ワクチンは、接種回数は2回で、1回当たり2万円前後。

木原 予防接種の効果は。

健康福祉課長 生ワクチンが50～60%程度、不活化ワクチンが90%以上の予防効果があるという報告がある。

木原 高齢者の罹患が多いこと、生活習慣病者が感染しやすいことを考えると、带状疱疹ワクチン接種の費用助成が必要と考えるが、助成についての考えは。

町長 国の動向、県内市町の状況、予防接種の効果等情報収集・調査を行いながら、接種費用の助成についても検討を進めていく。

その他の質問

HPVワクチンの接種について

障がい者の合理的配慮の実現について



秋丸 要一議員



子どもの相対的貧困改善対策は、子育て応援につながる重要課題である！

秋丸 相対的貧困とは何か。実態について問う。

町長 日本における貧困は、1人世帯において等価可処分所得が127万円以下。貧困率は15.4%になる。また、2021年の子どもの貧困率は11.5%で、9人に1人が貧困状態。

保健子ども課長 ひとり親世帯では、44.5%と約半数が貧困世帯に該当する。本町では、約42世帯が、貧困状態にあると推測される。

秋丸 子どもの相対的貧困世帯の今後の対策と取り組み方針は。

町長 アンケート調査を行ない、その課題を抽出して新たな事業取り組みを行う。

保健子ども課長 今年度、子どもの貧困対策にかかる実態把握のため、小学校5年生から高校3年生の本人及びその保護者を対象にアンケート調査をお願いしている。今後、生活状況を詳しく把握し、問題点について、また、政策が必要な分については検討していく。

秋丸 本町の子どもを持つ世帯数は何世帯あるか。

保健子ども課長 実態の把握はしていない。

秋丸 ひとり親世帯の実態は。

保健子ども課長 現在は、93世帯。

秋丸 ひとり親世帯の5年間の推移は。

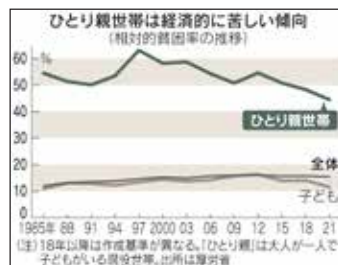
保健子ども課長 令和2年度が103世帯、令和3年度は99世帯、令和4年度は104世帯、令和5年度が94世帯。

秋丸 近年の物価高や公共料金の値上げなどにより、貧困の加速化が懸念されている。生活保護受給者数と世帯数の実態は。

福祉課長 7月末時点で28世帯40名。

秋丸 受給者の推移と保護費はいくらか。

福祉課長 令和3年度27世帯保護費が1,854万5,000円、令和4年度25世帯1,727万3,500円、令和5年度は25世帯1,880万9,400円。



白木 淳議員



次世代の子どもたちに負担のないような基金の運用を期待する

白木 現在、町で積み立てている基金のすべての残高を問う。

町長 令和6年7月末現在、21の基金があり、総残高は98億7,555万円である。

白木 21の基金の中で、5年以上活用がされていない基金はあるか。

会計管理者 平成17年度から取崩しが行われていない基金は、社会福祉振興基金・中山間ふるさと水と土保全基金・緑化基金・環境美化基金で、土地開発基金は平成25年度から取崩しが行われていない。

白木 合併からもうすぐ20年になる。活用出来ていない基金については、基金条例の改廃や運用について執行部で協議できないか。

総務課長 長い間活用されていない理由は、過去からにおいて基金の目的に沿った事業構想がなく、休眠状態になったことが根本的な原因。今後は、基金の統合・廃止も含め活用方法等について検討を重ねながら、基金の在り方について慎重に進めていく。

白木 後期高齢者の被保険者に対しての人間ドック助成制度が廃止された理由は。

住民環境課長 後期高齢者医療制度は熊本県後期高齢者医療広域連合が保険者であり、国の特別調整交付金が平成30年から段階的に引き下げられ、令和3年度から廃止になった。和水町においても、平成27年度から広域連合のかさ上げとして、1万5千円を上限に助成を行っていたが、ニーズが低いことと広域連合の事業廃止を受けて、平成31年度から町の助成も廃止した。

白木 廃止された理由がニーズが低かったとあるが、国保の人間ドックを受診されている方の約8割は60代から70代で、高齢者が健康に留意されている結果である。早期発見、早期治療、健康寿命の延伸のため、後期高齢者に対する人間ドックの助成制度を復活できないか。

町長 補助を行っている団体が県内で13団体ある。近隣では玉東町が実施されている。近隣自治体の状況を調査・検討して、再度、補助事業が復活できないか検討していく。



亀崎 清貴議員



高校生が安心して通える環境整備と保護者等の負担軽減を!! 高齢者の移動確保の充実を!!

亀崎 町内在住高校生が近隣市町の高校へ通うのに「必要な時間」「行きたい場所へのアクセス」などで

通学しづらいといった交通の不便さがある。地域間の格差を解消し誰もが等しく教育を受けられ、気兼ねなく通学するのにに対して補助金等を含め町としての考えについて問う。

町長

他の状況を把握し、本町での補助制度の必要性を踏まえ、調査研究を進めたい。

亀崎 山鹿市方面や玉名市方面へ循環バスを通せるように山鹿市や玉名市との定住自立圏において検討していけないか。

まちづくり課長 持続可能な地域公共交通網の形成に向

けて、近隣市町と協力し、課題を調査し取り組みを行ってきたい。

亀崎 高齢者等の外出促進と移動の支援を行うために令和3年度「和水町高齢者ハンドル形電動車椅子購入費補助要綱」を策定しシニアカーに対する補助に取組んでおられたが、設立の経緯や目的、町としての今後の考えを問う。

町長 事業の実施に当たっては町内の高齢者のニーズを把握するために令和2年11月に要支援1・2、相当の高齢者や要介護1の認定者合わせて458名にアンケートを実施(内294名回答)した。結果を踏まえ補助の必要性があると判断し、令和3年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し事業を実施した。対象者約450名に対して活用された高齢者は13名(想定数30名)と想定よりも少ない状況から、継続した事業の優先度は高くないと判断している。

その他の質問 自治体版ライドシェアの導入について



笹淵 賢吾議員



今年12月2日以後の現行の健康保険証は今後どうなるか 重度心身障がい者の医療費無償化を 農業後継者への所得補償で後継者確保を

笹淵 現行の健康保険証は、令和6年12月2日から発行されなくなるが、今後の方針は。

町長 「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部改正により、今年12月2日に全ての健康保険証が廃止されマイナンバーカードを基本とする「マイナ保険証」へ移行することになった。しかし、マイナンバーカードを保有されていない人や「マイナ保険証」を登録していない人は従来の保険証の代わりに「資格確認書」を交付する。

笹淵 資格確認書の有効期限は。

住民環境課長 資格確認書の有効期限は最長5年となっている。

笹淵 物価高で生活も苦しくなっている。障がい者に優しいまちづくりとして、重度心身障がい者の

医療費の無償化を求める。

町長 自己負担額の無償化は持続可能かどうか、検討していきたい。

笹淵 農業後継者の20代、30代、40代の人数は。

町長 新規就農者対策助成金交付台帳で、農業後継者の20代は3名、30代は18名、40代は20名、合計41名。

笹淵 20代は、わずか3名と少ないのは危機感を持つべき。町の持続可能な農業にとって後継者確保は中心課題である。農家の所得を増やさなければ農業を続けられない。ひと月10万円や15万円を野菜栽培期間の所得補償として支援し、町内の直売所で販売し町内流通を推進してはどうか。

町長 町単独では厳しいので国・県に話して何らかの支援をいただけるよう取り組んでいきたい。



齊木 幸男議員



旧南小学校跡地の活用は・町有地のプロポーザルは DXの効果は・防災行政無線の運用は 白石堰河川公園の管理は・町境看板の活用は

齊木 旧南小学校跡地の事業開始はいつ頃か。

町長 10月に面談の予定。

齊木 プロポーザルの3件の町有地や周辺に上下水道を整備して移住定住や住宅建設を促進させることで町有地の価値を上げ売却につなげては。

まちづくり課長 今年度は公募無し。再考する。

齊木 旧南小学校プール跡地の建物管理は。

まちづくり課長 危険の無いよう管理を行う。

齊木 DXデジタルトランスフォーメーションのスケジュール感、書かない窓口やマイナ保険証などデジタルの恩恵で便利になることを知らせるべき。

まちづくり課長 その都度広報紙等で周知する。



南小学校跡地。事業開始期限は令和7年1月

齊木 遠隔相談窓口・オンライン相談窓口をもっと利用していただくようお知らせしたら。

まちづくり課長 広報なごみで一度紹介した。

齊木 設置15年の防災行政無線の更新は。

総務課長 親局中継局機器の更新を次年度行う。

齊木 防災無線の放送内容を町のホームページや公式LINE等で確認できるようになるか。

町長 利便性を高めたシステムの導入を検討。

齊木 菊池川白石堰河川公園の周辺に台湾の国花の梅や金針花(ワスレグサ)や韓国広州市を思い無窮花(ムクゲ)の花を植えては。

まちづくり課長 そのような視点も勉強する。

齊木 町境の看板はもちろん、DXの活用もそうだが、素晴らしい発想を職員はどんどん出して、年間約630万台通る玉名山鹿線の交通量と人の流れも利用し宣伝効果をあげ町の発展につなげては。

まちづくり課長 効果的な観光PRに繋げたい。



千々岩 繁議員



和水町古墳祭・夏祭り盆踊り大会の暑さ対策について 関係者の負担軽減等を鑑み、行事の見直しは？

千々岩 古墳祭の来場者数は？

まちづくり課長 来場者数は、3日(土)は約12,000人、

4日(日)は約9,000人、合計約21,000人と算出している。

千々岩 暑さ対策は？

町長 熱中症対策として、氷を準備して必要な方に配布した。暑さ対策として会場にミストシャワー4基設置した。夏祭り盆踊り大会においても、猛暑の中での開催だったが、事故やけが等はなく無事終了した。

千々岩 古墳祭に於いて救急搬送や怪我をされた方は？

まちづくり課長 2日間を通して、7名の方を救護している。

千々岩 イベントを開催するにあたり、スタッフの行動マニュアルを作成しているか？

まちづくり課長 業務の分担表を作成している。今後、

業務分担表とは別に、救護を含む、スタッフが共通して共有できるマニュアルの作成を考えたい。

千々岩 祭りを開催するにあたり、準備に要した日数、職員の人数等は？

まちづくり課長 古墳祭は約2ヵ月余り、夏祭り盆踊り大会と山太郎祭は1ヵ月半、戦国肥後国衆祭りは約3ヵ月半である。スタッフとして携わる町職員の人数は、古墳祭が延べ191名、夏祭り盆踊り大会が31名、山太郎祭が92名、戦国肥後国衆祭りが79名である。

千々岩 関係者の負担軽減等を鑑み行事の見直しをする考えはないか？

町長 それぞれの祭りの趣旨や目的があり、どの祭りも多くの皆様を支えられ、ご来場いただいている。行事の見直しについては、趣旨や目的を踏まえつつ、昨今の環境の変化も考慮しながら、関係者とともに、十分に議論していきたい。



竹下 周三議員



ふるさと納税の強化を、矢部谷トンネルの 早期着工を、基金の有効活用を。

竹下 はふるさと納税の問題点と対策について問う。

まちづくり課長 令和5年度寄附金総額約7億6,500万円、寄附件数約5万件と順調に推移しているが、近年の制度改革や募集の適正基準の厳格化、基準の改正が予定されており、寄附件数の減少の恐れがある。

竹下 町のふるさと納税の体制は。

まちづくり課長 まちづくり課企画調整係の3人体制で他の業務と兼務で行っている。

竹下 移住定住支援策の現状は。

町長 支援事業は令和4年7区画、令和5年11区画、令和6年予定を含め18区画と計36区画が開発されている。

竹下 空き家バンク登録状況は。

町長 令和6年8月末で登録が135件、ホームページ上で公開している。利用希望者との交渉成立は72件である。

竹下 玉名八女線矢部谷トンネル等、道路改良に関しては約30年前から要望がなされているがどうなっているのか。

建設課長 現地調査も引き続き実施し、八女市と協力して達成できる様に要望を行っていく。

竹下 地区の除草作業等、大変苦慮している現在、環境美化基金等4,000万円程度の環境の保全に合致する基金が休眠状態であり、有効活用を望む。

総務課長 特定された目的のために準備された基金であり活用方法については慎重に精査していく。





議会のうごき

ACTION

6月定例会以降の主な行事について報告します。

6月

- 16日(日) ◆第8回和水町消防操法大会
- 19日(水) ◆宮城県大衡村議会視察研修
- 21日(金) ◆第48回和水町観光協会通常総会
◆令和6年度和水町防災会議
- 25日(火) ◆第10回夏祭り盆踊り大会第1回実行委員会
- 26日(水) ◆令和6年度和水町青少年育成町民会議総会
- 28日(金) ◆総務文教常任委員会
◆広報調査特別委員会

7月

- 5日(金) ◆長洲町議会ICT視察研修
- 8日(月) ◆広報調査特別委員会
- 9~10日(火~水)
◆厚生建設経済常任委員会視察研修
- 11日(水) ◆和水町矢部谷峠トンネル促進期
成会要望活動
- 11~12日(木~金)
◆総務文教常任委員会視察研修
- 17日(水) ◆令和6年第2回和水町議会臨時会
- 18日(木) ◆鹿児島県南九州市議会視察研修
- 19日(金) ◆玉名郡町村議会議長会定例会
- 21日(日) ◆第30回玉名郡消防操法大会
- 23日(火) ◆令和6年度町村議会常任委員長・
議会運営委員長研修会
- 25日(木) ◆セブンイレブン和水三加和店
ターキー式典
- 27日(土) ◆古墳祭に伴う清掃作業
- 30日(火) ◆令和6年度玉名八女線道路整備
促進期成会総会

8月

- 4日(日) ◆韓国公州市訪問団歓迎式
◆第51回古墳祭
◆玉名八女線道路整備促進期成会文化交流会
- 5日(月) ◆韓国公州市訪問団歓迎夕食会
- 8日(木) ◆和水町議会運営委員会
◆令和6年度第1回せきすい斎苑連絡協議会
- 9日(金) ◆和水町農業委員会懇談会
- 13日(火) ◆第10回夏祭り盆踊り大会
- 21日(水) ◆総務文教常任委員会
- 22日(木) ◆和水町議会運営委員会
- 23日(金) ◆令和6年度玉名郡町村議会議員研
修会及び球技大会
- 25日(日) ◆第35回熊本県消防操法大会
- 27日(火) ◆令和6年度町村議会正副議長研修会
- 28日(水) ◆古墳祭実行委員会
- 29日(木) ◆和水町金栗四三の生家活性化委
員会第2回会議

9月

- 2日(月) ◆令和6年度和水町道路整備推進委員会
- 4日(水) ◆なごみAG会温泉宅配出発式
- 9~17日(月~火)
◆令和6年第3回和水町議会定例会

委員長	亀崎 清貴
副委員長	荒木 宏太
委員	笹渕 賢吾
委員	白木 淳
委員	木原 泰代
委員	千々岩 繁

広報委員

表紙の紹介

スポーツを通じた活力あるまちづくりを目指し、誰もがスポーツに親しむことを目的に、9月29日(日)なごみスポーツの日が開催されました。

ペタンク、グラウンドゴルフ、バドミントン、ビーチボールバレー、ニュースポーツ、eスポーツの6種目が実施され、子どもから大人まで幅広い年代の方が参加しました。



人／事／案／件

令和6年第3回定例会(9月)において、和水町農業委員について上程され、次のとおり同意されました。

和水町農業委員

○ JAたまな推薦 石口 秀明

任期：令和6年10月1日～令和9年7月31日

編集後記



暑かった夏も終わり、もう少して冬になります。毎年「今年の夏は暑かった」と良く言いますが、本当に今年の夏は暑かった。9月になっても35度越えの日が幾日もありました。気候変動や地球温暖化の影響によって「秋」がなくなるのではと危惧するところ

ろいがあります。生まれながらにして四季を体感することに、五感が研ぎ澄まされていく。日本人に手先が器用で、感覚に優れた人が多いのもこの四季と関係があるのかもしれない。私は日本人として生まれたことを有難く、誇りに思う。

広報委員 白木 淳

